

科目	数学B	単位数	2	学年	2	学級	A~I (選択者)	学科	普通科 国際教養科
----	-----	-----	---	----	---	----	--------------	----	--------------

学習の到達目標	数列、ベクトル、統計処理についてそれぞれの概念を理解し、問題を解く能力を身につける。
使用教科書 副教材等	教科書 「高等学校 数学B」(数研出版) 副教材 「4プロセス 数学B」(数研出版)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前	4	第3章 数列	数列の規則性に着眼し、簡単な数列について、その一般項を求めたり、任意の項を算出したり、また数列各項の和を求める。 数列の和を、和の記号 Σ を用いて処理する。 規則性の複雑な数列について、 Σ の方法や、階差数列を用いる方法を学び、それによって、一般項や数列の項の和を求める。
	5	1-1 数列と一般項 1-2 等差数列 1-3 等差数列の和 1-4 等比数列 1-5 等比数列の和 2-6 和の記号 Σ 2-7 階差数列 2-8 いろいろな数列の和	
	6	3-1 漸化式	
	7	3-2 数学的帰納法	
	9	第1章 平面上ベクトル	
		1-1 ベクトル	
		1-2 ベクトルの演算	
		1-3 ベクトルの成分	
		1-4 ベクトルの内積	
後	10	2-5 位置ベクトル	基本的な図形の性質や関係を、ベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。 空間の座標の表し方を学び、空間のベクトルの成分の計算や内積を求めることができるようにする。
	11	2-6 ベクトルの図形への応用	
	12	2-7 図形のベクトルによる表示	
		第2章 空間のベクトル	
		1 空間の点	
		2 空間のベクトル	
		3 ベクトルの成分	
		4 ベクトルの内積	
		5 ベクトルの図形への応用	
	6 座標空間における図形		
	第4章 確率分布と統計的な推測	度数分布表やヒストグラム、度数分布多角形について理解する。 資料の代表値について学び、平均値、メジアン、モードを求める。 資料の散らばりについて調べ、分散、標準偏差を求める。	
1	1-1 確率変数と確率分布		
2	1-2 確率変数の期待値と分散		
3	1-3 確率変数の和と積		
	1-4 二項分布		
	1-5 正規分布		

評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	自ら問題解決ができていますか。
	数学的な見方や考え方	さまざまな視点から考えることができていますか。
	数学的な技能	計算が的確に処理できていますか。数学的な解答になっているか。
	知識・理解	数列、ベクトル、統計処理についてそれぞれの概念を理解しそれを論理的に使いこなすことができるか。
	評価方法	定期考査を7割から8割程度とし、提出物、授業への積極的参加、4つの観点を総合的に評価し、平常点を2割から3割程度の配分で評価する。
担当教諭から	例題などの説明をしっかりと聞き、問題演習でわからないところは積極的に質問をしてください。	